



6月29日[土] — 8月18日[日]

彫刻家 高村光太郎展

生誕
130年

展覧会概要

高村光太郎（1883–1956）は、江戸末期から明治期に活躍した木彫家・高村光雲（1852–1934）の長男として東京・下谷に生まれ、幼い頃より後継者としての修練を与えられました。父から江戸時代そのままの指導方法によって木彫の基礎を学んだ光太郎は東京美術学校で木彫の他に塑造を学び、卒業後アメリカそしてフランスに留学します。

帰国後の光太郎の活動は、彫刻よりも文筆活動によって広く知られるようになります。日本最初のポスト印象派宣言とも、あるいはフォーヴィスムの先駆とも評される「緑色の太陽」（1910）に代表される評論、『道程』（1914）、『智恵子抄』（1941）などの詩業、そして『ロダンの言葉』（1916）といった翻訳は、芸術家である彼の存在を印象付けました。

その一方で光太郎は、彫刻の制作とその発表については慎重であり続けました。残念ながら1945年の空襲によって彼のアトリエは被災し、多くの彫刻作品がうしなわれ、彫刻家としてのあゆみは全体像が見えにくいものとなってしまいました。そして、疎開による環境の変化は、彫刻を制作する機会の妨げとなりました。しかし彫刻家の歿後、戦災を免れた作品によって直ちに遺作展が開催され、今日に至るまで数多くの展覧会で彼の彫刻は近代日本を代表する作品として取り上げられています。

生誕130年の節目を迎えて開催される今回の展覧会では、光太郎の原点ともいえる木彫作品をはじめ、彼が参照したオーギュスト・ロダン（1840–1917）や同時代の荻原守衛（1879–1910）、佐藤朝山（1888–1963）などによる作品と、妻・智恵子（1886–1938）が制作した紙絵をあわせて展示します。本展が光太郎の彫刻作品を見直すきっかけになるとともに、今日活発化している近代日本彫刻をめぐる研究に対する反省の機会となることを願います。

本展は光太郎の友人たちが住み、智恵子が過ごした房総の地で開催される、久しぶりの展覧会です。

展覧会情報

会 期 6月29日[土]ー8月18日[日]
開館時間 10:00ー18:00(金・土曜日は20時まで)
入場受付は閉館の30分前まで
休 館 日 第一月曜日(7月1日、8月5日)
観 覧 料 一般1,000円(800円) 大学生700円(560円)
※ 小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※ () 内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金
前 売 券 千葉市美術館ミュージアムショップ(6月16日まで販売)
ローソンチケット[Lコード:38378]
セブンイレブン[セブンコード:023-178]
千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口
(8月18日まで販売)
主 催 千葉市美術館 NHK プロモーション
企画協力 NHK ブラネット中部
協 力 高村光太郎連翹忌運営委員会
監 修 高村 規



高村光太郎 《柊》 1924年 個人蔵
撮影：高村規

関連企画

■ 記念講演会

「ひとすじの道ー光太郎研究を回顧してー」

講師：北川太一(文芸評論家・高村光太郎記念会事務局長)

聞き手：小山弘明(高村光太郎連翹忌運営委員会代表)

7月7日(日)／14:00より(13:30開場)

11階講堂にて／定員150名／聴講無料

※往復はがきによる事前申込制／申込締切6月26日(水) [必着]

■ファミリー・プログラム「はさみで描こう」

きれいな色紙を使って夏の絵をつくります。

7月28日(日)13:30～16:00 11階講堂にて

対象：小学1～3年生の子どもとその保護者10組20名

参加費：500円／組

※往復はがきによる事前申込制／申込締切7月16日(火) [必着]

【申込方法】

往復葉書に郵便番号、住所、電話番号、氏名、人数(2名までお申込み可)を明記の上、下記までお申し込み下さい。「ファミリー・プログラム」は、2人分の氏名、子どもの学年、当日連絡可能な電話番号を明記してください。(いずれも1人1通まで。応募多数の場合は抽選となります。)

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 企画係

■ギャラリートーク

担当学芸員による：7月3日(水)14:00より

ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(7月3日を除く)

※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

■市民美術講座

「光太郎・そのあゆみ」

7月20日(土)14:00より11階講堂にて

「光太郎・その時代」

8月10日(土)14:00より11階講堂にて

各回とも

講師：薬科英也(当館学芸係長)

14:00より／11階講堂にて／先着150名／聴講無料

■中学生のためのギャラリークルーズ '13

7月26日(金)、7月27日(土)10:00～15:00随時受付 展示室にて

定員：各日30名程度 参加無料

※ 講演会やイベントは予告なく変更される場合がございます。おそれいりますが、当美術館ホームページをご確認ください。

プレス内覧会

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。

6月28日(金) 16:00より(40分程度) 10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡下さい。

同時開催

所蔵作品展「高村光太郎の周辺」

「彫刻家・高村光太郎展」展の開催に合わせ、当館の所蔵作品のなかから、彼と関わりのあったアーティストたちの作品を中心にをご紹介します。

＊「彫刻家・高村光太郎展」をご観覧の方は無料



柳原義達 《道標—鴉》
1978年 千葉市美術館蔵

次回展予告

所蔵作品展「琳派・若冲と花鳥風月」

2013年8月27日(火)～9月23日(月・祝)

唐時代の中国で成立した花鳥画は、日本の四季の中で育まれ、近世日本絵画で大きく花開きました。所蔵作品の中から日本美術の装飾性をよく表す琳派、伊藤若冲の作品を中心に、動物、植物、自然を表した近世以降の美術を展示します。



鈴木其一 《芒野図屏風》 天保後期～嘉永(1830～54)期
千葉市美術館蔵

交通案内

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

Tel. 043-221-2311 (代) / FAX. 043-221-2316

<http://www.ccma-net.jp>



◎ JR 千葉駅東口より

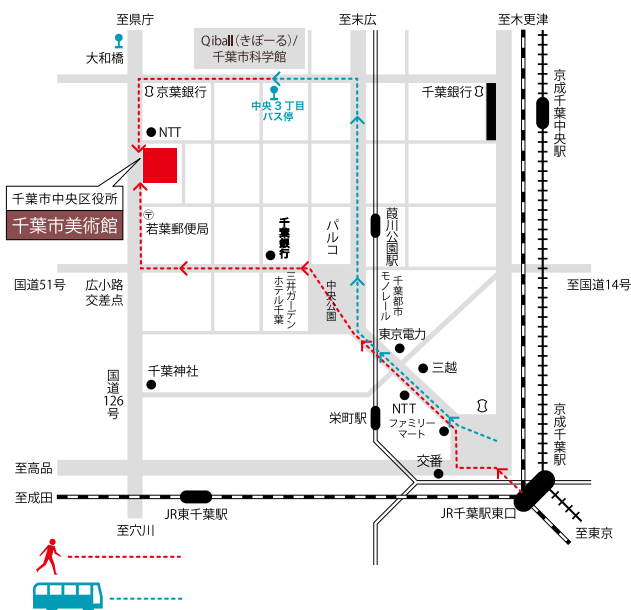
- ・徒歩約15分
- ・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡下さい。使用はお申し込みの通り1回限りとし、内容をご了承下さい。

生誕130年 彫刻家・高村光太郎展



1.
高村光太郎
《蟬 3》
1924年 個人蔵



2.
高村光太郎
《手》
1918年頃 個人蔵



3.
高村光太郎
《柰榴》
1924年 個人蔵



4.
高村光太郎
《薄命児男子頭部》
1905年 個人蔵



5.
高村光太郎
《裸婦坐像》
1917年 個人蔵



6.
高村智恵子
《くだものかご》(部分)
1937-38年 個人蔵

『生誕130年 彫刻家・高村光太郎展』
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名:	媒体名:
ご担当者:	発行日予定:
ご連絡先電話:	発行部数:
FAX:	定価:
Email:	掲載予定コーナー名等:
画像到着希望日: 月 日 時まで	画像の掲載サイズ (おおよそで結構です 例: 10cm 四方、など):

■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

1. 高村光太郎《蟬 3》1924 年 個人蔵 撮影: 高村 規
2. 高村光太郎《手》1918 年頃 個人蔵 撮影: 高村 規
3. 高村光太郎《柘榴》1924 年 個人蔵 撮影: 高村 規
4. 高村光太郎《薄命児男子頭部》1905 年 個人蔵 撮影: 高村 規
5. 高村光太郎《裸婦坐像》1917 年 個人蔵 撮影: 高村 規
6. 高村智恵子《くだものかご》(部分) 1937-38 年 個人蔵 撮影: 高村 規

(上記以外の写真などをご希望の方は、お問い合わせ下さい。)

■プレゼント用招待券申込
(ご希望の場合はチェックをつけてください)

☐ 5 組 10 名様 希望します。
(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先
ご住所:〒

問い合わせ先
千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8
E-mail: warashina@ccma-net.jp (担当学芸員 藁科英也)
isono@ccma-net.jp (広報担当 磯野 愛)
Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)
Fax. 043-221-2316
HP. <http://www.ccma-net.jp/>

生誕130年

彫刻家 高村光太郎展



プレス内覧会申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。

6月28日(金) 16:00より(40分程度) 10階会議室にて

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX(043-221-2316) までご返信ください。

お名前

ご所属

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

E-mail : isono@ccma-net.jp

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉県美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>